

第35回交流連携サロン ～地域と紡ぐ共創の力、地域課題が新たな価値へ～

近年、個人や行政だけでは解決できない多様な社会課題が山積する中、企業が持つ強みを課題解決に活かし、新たな価値創造に繋げる「ソーシャル・イノベーション」が注目されています。

今回のサロンは、自社の強みを活かして新事業に取り組む企業の講演や、放置竹林を題材としたワークショップを通じて、ソーシャル・イノベーションに繋がるヒントを探ります。

日時

令和7年12月2日（火）
14:30～17:00

会場

宇治茶会館 大ホール
（宇治市宇治折居25-2）

参加費

無料（事前申込制）
※会員の有無に関わらず
どなたでも参加可能

申込み

申込方法の詳細は裏面参照
※当日参加可能

第1部 YMBA勉強会成果発表会

全7回の勉強会と各回の宿題を従業員と重ねた成果として、自社の価値創造ストーリーや社会課題解決に向けた自社の強みの活用策等を、受講者代表2名から発表いただきます。

【講評】 龍谷大学政策学部教授 中森 孝文 氏

安藤公認会計士事務所 安藤 亮史 氏



第2部 ソーシャル・イノベーションに関する講演とワークショップ

01 講演 自社の強みを活かした新たな事業展開

登壇者 小嶋織物株式会社 取締役 小嶋 恵理香 氏（YMBA勉強会 第3期生）

▶大阪・関西万博へ出展した「光る壁紙」の開発秘話や、万博の迎賓館にも採用された木津川市の伝統産業「京織ふすま紙」の機能や技術力を活かした今後の展開についてお話いただきます。

02 ワークショップ 地域課題から新事業の芽を見抜く力を鍛えてみませんか？

題材講演 放置竹林からお金を生み出す方法

NPO法人加茂女 代表理事 曾我 千代子 氏

全体ファシリテーター 龍谷大学政策学部教授 中森 孝文 氏

▶事前に題材講演を通じて、放置竹林が抱える問題や歴史的背景、機能や特性等を理解いただき、参加の皆様と会社の強みを応用し、地域課題から新事業を創出するヒントを探ります。



登壇企業・団体のご紹介

▶ 小嶋織物株式会社(木津川市)

1932年創業。分業の多い織物業界・インテリアメーカーにおいて、自社で一本の糸づくりから製織そして加工から最終製品までの一貫生産を手掛ける。

天然素材を最大限に活かす「織物襖紙」と「織物壁紙」を高品質・短納期で提供しており、国内トップシェアを誇る。

100年弱にわたり受け継ぐ伝統と積み重ねてきた知識・技術をもとに、世界中の顧客と時代のニーズに合わせた新たなデザインに挑戦を続けている。

▶ NPO法人加茂女(木津川市)

1989年設立。当初は、木津川市加茂町のニュータウンに住む17人の女性によるアルミ缶回収事業として活動を開始。

その後、放置竹林や里山の整備、移住支援へと活動の幅を広げている。

「里山・竹林を整備する」、「竹を食べて減らす」、「移住・就農を支援する」、「町の環境を守る」の観点から事業を展開し、木津川市の財産である竹林の保全と現代風の竹や筍の利活用に取り組んでいる。



申込みはこちら

● 以下のいずれかの方法で申し込みください

- ・ 下記のメールアドレスに、「企業名」、「役職」、「氏名」を記載のうえ送付
y-n-noushoko@pref.kyoto.lg.jp
- ・ 右の二次元コードから申込フォームにアクセス

※オンリーワン倶楽部の会員をはじめ
どなたでも参加可能です

※当日参加可能



会場へのアクセス

- 宇治茶会館 大ホール
(住所:宇治市宇治折居25-2)

● 車でお越しの場合

駐車場(収容台数:約30台)

- ※ 駐車台数に限りがあります。
満車の場合は、山城総合運動公園(太陽が丘)
有料駐車場に駐車をお願いします。

● 公共交通機関でお越しの場合

京阪宇治駅・JR宇治駅より京阪宇治バスで
「太陽が丘ゲート前」下車すぐ



i 京都やましろ企業オンリーワン倶楽部とは

原則として、山城地域に事業所を置き、京都府の各種制度(元気印、知恵の経営、経営革新等)の認定や表彰を受けた企業等で構成する異業種交流ネットワークです

※会員企業数173社(令和7年9月現在)